

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 34 号	氏名	Ainur Akilzhanova
学位審査委員	主 査	工藤 崇	
	副 査	前田 隆浩	
	副 査	福岡 順也	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、低葉酸摂取地域であるカザフスタンにおける、乳がんリスクと葉酸・ホモシステイン代謝および代謝関連遺伝子多型の関連を明らかにしようとしたものであり、目的は十分妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 葉酸・ホモシステイン代謝の血清生化学的指標および葉酸代謝関連遺伝子の遺伝子多型を、乳がん発症群とコントロール群の間で比較し、解析に影響を及ぼす人種・年齢など種々のバイアスを多変量解析にて取り除き、統計学的に解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、メチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素(MTHFR)遺伝子多型 MTHFR C677T が乳がん群で有意に高頻度であることが明らかとなった。また血中ホモシステイン値が乳がん群で有意に高いこと、血中葉酸値が低い群において、MTHFR C677T の多型が高血中ホモシステイン値と関連していることが明らかとなった。葉酸代謝における遺伝子多型と乳がんリスクの関係が明らかとなるとともに、低葉酸摂取状況の改善が、乳がんのリスク低下につながりうることが示され、今後の乳がんの腫瘍学研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は腫瘍学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			